

- 北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進することを目的として、平成26年10月3日 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会を設立。
- 平成30年度の活動を推進するため、新たな取り組みの実施、取り組みの展開について検討。

## 開催概要

【新潟県部会】平成30年6月15日（金）10:00～12:00

• 〔会場〕北陸地方整備局 4F会議室

• 〔出席機関〕

〔行政〕北陸地整、新潟労働局、新潟県土木部・教育委員会、新潟市

〔建設産業〕日建連北陸支部、新潟県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、新潟県測量設計業協会、新潟県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

〔教育〕新潟大学、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、新潟工業高校、新発田南高校

## 新潟県部会開催状況



## 検討結果

平成30年度は、担い手協議会の各組織が連携して合同企業セミナー（仮称）を実施するなど、各大学・建設系高校に対する取り組みを強化すると共に、「建設業と繋がり無し学生（他分野）・生徒・小中学生・園児」に対しても、建設業の魅力を発信するなどの取り組みを引き続き進める。



## 意見等

- ①合同企業セミナー等における情報発信は、建設業の魅力、建設業における測量・調査・施工等の役割分担、県内就職のメリットPRなどが効果的である。  
また、情報発信に際しては、大学と高校、学年毎でも認識が違うことから、それらを意識しつつ、学校側の事情や要望等を加味しながら実施していくことが望まれる。
- ②高校生の建設分野の新規入職者について、普通学科からの入職も多いことから、傾向をデータ等で確認しつつ、普通学科に対する取り組みも進めていく必要がある。
- ③建設分野の各学校に対する現場見学会等の取り組みは、各学校において漏れなく取り組みが展開出来きているかを、担い手協議会でチェックしていくことが望ましい。